

こうみ



12月議会 一第4回定例会一

こんなことが決まりました

議案質疑

一般質問

議会報告会

議会報告会アンケート結果・

各常任委員会の活動内容・編集後記

2

4

5

13

14

平和な1年になりますように(芦平のかあがり)

きかせて みんなの夢

みなさんの未来に寄り添うために

12月議会第4回定例会で

こんなことが決まりました

令和7年第4回小海町議会定例会が12月4日から17日まで14日間の会期で開催されました。人事案1件、条例等改正案7件、補正予算案3件、陳情1件、追加議案として発議2件、条例改正案3件、補正予算案3件の合計20件で審議が行われ、陳情すべての案件が同意・可決・採択されました。一般質問では、7名の議員により行われ、町の考えをいただきました。

令和7年度一般会計補正予算（第6号）全員賛成で承認

3,338万円を増額 総額54億4,075万円

【財源の主なもの】

- 地方交付税 1,098万円
- 基金繰入金 2,075万円

【歳出の主なもの】

- 社会福祉協議会補助金 1,144万円
- 小海保育所エアコン設置工事 500万円
- 小海小学校下駄箱更新工事 435万円

令和7年度特別会計補正予算 全員賛成で可決

介護保険事業特別会計（第3号） 1,077万円を増額 総額7億5,147万円

簡易水道事業会計（第1号） 6万円を増額 総額9,506万円

（追加議案）令和7年度一般会計補正予算（第7号）全員賛成で可決

2,652万円を増額 総額54億6,727万円

【財源の主なもの】

- 地方交付税 1,764万円
- 物価高騰対応重点支援 地方創生臨時交付金 888万円

【歳出の主なもの】

- 議員職員人件費 1,764万円
- 物価高対応子育て応援手当 888万円

（追加議案）令和7年度特別会計補正予算 全員賛成で可決

介護保険事業特別会計（第4号） 77万円を増額 総額7億5,223万円

簡易水道事業会計（第2号） 22万円を増額 総額9,527万円

人事

小海町農業委員会の委員の任命同意について

新しい農業委員14名が全員賛成で同意されました。

条例改正等

南佐久郡教育支援委員会共同設置規約の一部を改正する規約について

事務局を佐久穂町教育委員会内に固定し、主体を郡教育委員会に担い、委員の任命を教育長が担い、正副委員長の選任方法及び守秘義務について新たに規定するものです。

全員賛成で可決

こども家庭センター設置条例の制定について

子育てに困難を抱える世帯がこれまで以上に顕著化してきている状況を踏まえて、子育て世帯に対する包括的な支援のための体制強化を行うために、こども家庭セン

ターを設置するものです。
全員賛成で可決

小海町議会議員及び小海町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について

公職選挙法施行令の改正により選挙運動用のビラ及びポスター作成の公営に要する経費に係る限度額が引き上げられたことに伴う改正です。

全員賛成で可決

小海町職員定数条例の一部を改正する条例について

事務量の増加やサービスの向上に伴い、町長の事務部局職員の定数を77人から83人に改め、うち教育委員会の事務部局の職員を5人以上から7人以上に改めるものです。

全員賛成で可決

特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

報酬の見直しにより、各種審議会等の委員の報酬を引き上げるものです。

全員賛成で可決

特別職の職員で常勤の者等の旅費に関する条例の一部を改正する条例について

特別職の職員で常勤の者等の旅費について、県内における終日の

日当を県外の日当に合わせるものです。
全員賛成で可決

職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例について

職員の旅費について、県内における終日の日当を県外の日当に合わせるものです。

全員賛成で可決

陳情

●診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬10%以上の引き上げを求める陳情書
陳情者 長野県医療労働組合連合会 執行委員長 小林 吟子 他1団体

全員賛成で採択

（追加議案）

議員発議

診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬10%以上の引き上げを求める意見書

全員賛成で可決し、関係大臣に意見書を提出しました。

小海町議会議員の請負の状況の公表に関する条例について

町議会の透明性の確保や公正な議会運営及び適正な事務執行を目

的とし、町議会議員と町との請負状況を公表するものです。
全員賛成で可決

条例改正

議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について

人事院勧告及び特別職報酬等審議会の答申に伴い、令和7年12月期の期末手当を0.05月分引き上げ、令和8年6月期の期末手当を均等にするものです。

全員賛成で可決

特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部を改正する条例について

人事院勧告及び特別職報酬等審議会の答申に伴い、令和7年12月期の期末手当を0.05月分引き上げ、令和8年6月期の期末手当を均等にするものです。

全員賛成で可決

一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

人事院勧告に伴い、通勤手当及び宿直手当の引き上げと、令和7年12月期の手当を0.05月分引き上げ、令和8年6月期と12月期の手当を均等にするものです。

全員賛成で可決

各常任委員会からの要望

予算決算常任委員会

●簡易水道事業について、町民に安心を提供するために課題や問題を整理し、対策を講じていることについて、周知されたい。

○町長

町民の皆様への周知、広報活動は、水道事業の理解を得るために不可欠です。事業の現状や将来の見通しを含め、情報発信してまいります。





7名の議員が町政を問いました

一般質問



YouTube配信QRコード



<1日目>



<2日目>

- ご不明な点は議員にお尋ねください。また正式な記録は町ホームページにある会議録をご覧ください。
- YouTubeで動画を視聴できますので、是非ご覧ください。

6ページ	佐久総合病院小海分院への財政支援の増額を	鷹野 文則
7ページ	町の防災減災について町の考えは	小池 喜昭
8ページ	鳥獣害対策について	菊池 一巳
9ページ	町が目指す、これからの地域の姿とは	黒澤 敦史
10ページ	駅・アルルについてのお考えは	渡邊 晃子
11ページ	タクシー乗ってね券は廃止でいいのでは	的埜美香子
12ページ	小海分院への支援の増額は、実施するのか	渡辺 均

○一般質問とは

定例会において、議員が町の施策の状況や方針などについて、報告、説明を求めたり質問することをいいます。

議案質疑

- Q** 子ども家庭センター設置条例が制定されたが、今までの違いは何か？

A 今まで保健係保健師やこども課が対応してきたが、一本化できておらず、相談後の手当ても十分ではなかった。窓口の一本化を図り、内容により関係機関に迅速な対応を図る。
- Q** センター長や統括支援員は誰が担うのか？

A 保健師で係長ポストを予定し、兼務で、という形を想定しています。
- Q** 設置場所は？

A 関係部署、教育委員会、こども課、町民課、学校などと協議し、各課の役割分担などを考慮して進めます。今のところ町民課の一係で考えています。
- Q** 財政調整基金の充当先は？

A 主にゼロカーボン、小学校の改修に充てます。基金の中でも一番弾力性がありますので、年度途中の変化に対応し目的を持って充てます。

- Q** 人事院勧告がなされ、ベースアップがなされたと思うが12月の補正に提出されていないが、原因は何か？

A 現在国会審議が続いており審議が終わりましたら追加議案で上程いたします。
- Q** 社会福祉協議会への補助金が1,144万円の増額になっているが、原因は何か？

A 事業の見直しが進まなかったこと。移動販売事業も燃料費や人件費の高騰で200万円の補正が必要になった。
- Q** 抜本的な対策が必要ではないか？

A 現状では収益増は見込めない。社協の決算資料を見ながら、今後について説明します。
- Q** 小海小の下駄箱の更新工事について、学校長から何件か修繕要望があったと思うが、今回下駄箱工事を優先した理由をお聞かせいただきたい。

A 新入生を迎えるときに年度初めから使用したいということですが、その他の要望については緊急度を考慮して順次対応してまいります。



- Q** 老朽化し耐用年数を経過した水道施設の維持管理は？

A 上水道を安定供給するため、計画的に建設改良費を計上し、水道管等の布設替えを順次行っています。有利な国庫補助等を使用し、町全体の供給計画に基づき、緊急性の高い箇所から順次更新し対応してまいります。
- Q** 介護サービスは、在宅から施設に流れている。この流れにどのように対応するのか？

A 社協も含め、居宅介護サービス事業は経営が厳しくなってきた。老老世帯が多くなり、自宅介護は難しくなってきた。この流れを踏まえ、3年ごとの計画の見直しを図り大きくぶれないような予算計上を図ります。

問 町の防災減災について町の考えは

答 町民課長 訓練内容を充実し住民の防災意識を高めたい



こいけ よしあき
小池 喜昭議員

問 避難所について

町民課長 指定緊急避難場所、指定避難所の施設及び関係地区公民館にプラスして、その施設等の庭や駐車場グラウンドを含めて22か所です。指定避難所もほぼ同数です。収容人数は、指定緊急避難場所全体で約8,100人ぐらいいです。小中学校や小海高校の体育館などは1,000人

町民課長 災害時に避難所を円滑に運営するためには、町民と町職員の協力体制が重要です。

小池議員 指定緊急避難場所・指定避難所の違い、及び収容人数を小海町のホームページでも解るよう早急に変更をお願いします。

問 避難所の開設訓練を総合センターで実際の災害を想定して、町民参加で実施する計画はどのようになっていますか。

鳥獣害対策について

問 9月1日に施行された「緊急銃猟」で熊などが人の

町民課長 テント付の簡易トイレが34基備蓄で、去年度より自動ラップ式の災害用のトイレを2基備えてあります。工事現場等にあるような洋式の仮設トイレが4基あります。八那池の防災倉庫にあり、ラップ式のトイレにつきましては、役場の4階にあります。トイレは、避難所ではかなりの重要な物で、計画的に数量を増やしたいと考えております。



指定緊急避難場所



指定避難所

小池議員 国・県でも熊対策の補正予算を検討中です。町でも是非必要な補正予算を組んで、町民の安全・安心の確保に全力で取り組んでいただきたい。

産業建設課長 猟友会の皆さんと連携会議を開き、熊の出没や人的被害の恐れがある場合は、猟友会と綿密な連携を取り対処していくことで確認しました。

防災トイレの備蓄状況

問 災害トイレの備蓄状況、どのような種類のトイレがどのくらい、どこに備えてあるか、お尋ねいたします。

であり、今後町民と町職員が一緒に実施するような訓練計画を進めていきたいと思っております。

生活範囲に現れ危険を及ぼす可能性がある場合は、銃による捕獲が可能になりました。町は熊の駆除について猟友会との連携はどの様になっていますか。

問 佐久総合病院小海分院への財政支援の増額を

答 町民課長 特別交付税の支援を南部協議会で検討中



たかの ふみのり
鷹野 文則議員

問 想定を上回るスピードで進む人口減少や少子高齢化、人件費や物価の上昇により医療環境は激変しており、医療利益でみた赤字病院の割合は7割を超えます。診療報酬は公定価格のため物価や賃金の上昇を転嫁出来ず経営を圧迫します。小海分院も医療利益が悪化しているようですが、特別交付税措置により1,500万円補助しています。補助の基本的方針を伺います。

町民課長 分院・診療所の経営課題は町としても深刻に受け止めており、労働環境の変化や人口減少を考えると町として必要な支援を行う重要性を強く認識しています。現在、南部5町村で3,000万円の支援をしており、その内80%が特別交付税、20%を南部5町村で負担しています。特別交付税法に基づいた補助が継続する限り支援を続ける方針です。今後も、地域住民の健康と安全を守るため財政支援を継続し地域医療の充実に貢献していく考えです。

問 特別交付税では算定額と助成見込額の低い方を採用することになっているが、どちら

町民課長 診療所と老健はあるが、3施設全体として分院への財政支援を行っているのか。

町民課長 診療所と老健は、

問 特別交付税の算定額では、不採算地区病院は1億3,320万円になります。8割補助の助成を活用する中、医療環境の悪化を考慮し分院の地域ニーズに定める機能を維持するため特別な支援が必要と思いますが、如何ですか。

町民課長 8月に分院より措置の増額要望がありました。南部広域行政推進協議会で5町村共同支援を協議し判断します。



らも2割地元負担となるのか？

町民課長 どちらを採用しても地元2割負担で、8割が特別交付税です。所在地の小海町が半分の1,500万円、4村が1,500万円の助成です。

特別交付税の対象としては考えていません。分院中心に考えている状況です。分院との協議の中、施設整備や新規医療事業も課題です。特別交付税の中で支援していく方向で南部の協議会で検討していますので、御理解をお願いいたします。

問 町が目指す、これからの地域の姿とは

答 町長 地域の支え合いを育んでいく



くろさわ あつし
黒澤 敦史議員

問 人口減少や少子高齢化が進む中で、町は「区」をどのような存在として捉えていますでしょうか。

総務課長 祭りや環境美化、道普請などを担う自主的な地域運営と、行政情報の伝達や選挙運営などを担う重要な組織として位置づけています。区がなければ行政運営が成り立たないほど欠かせない存在です。山間部と中心部では課題が異なるため、区長会を通じて意見交換を行っています。

問 区の負担が増えている中

で、今後の区運営をどのように考えていますでしょうか。

総務課長 従来のやり方を急に変えるのではなく、行事や作業の方法、回数を見直す等、無理のない形へ緩やかに転換していくことも重要だと考えます。各区の行事回数や区費などを整理した資料を作成し、区同士が参考にできるような情報共有を進めていきます。

問 集落支援事業は、今の地域課題に合った制度になっていますでしょうか。

総務課長 職員の異動や、地域に不慣れた職員が増えていくことから、継続的な関係づくりが難しい面があります。一方で、職員が区長や役員と連携し、地域運営の伴走者として関わるのが重要だと認識しており、今後はより密接に連携を図ってまいります。

問 町が目指す、これからの地域の姿とはどのようなものでしょうか。



問 鳥獣害対策について

答 産業建設課長 猟友会員確保のための支援策を講じてゆく



きくち かずみ
菊池 一巳議員

問 猟友会への支援強化について

問 猟友会員が高齢化や、後継者の確保もままならないなどで苦慮しています。そこで猟友会員確保のための支援策を講じていただきたいが。

産業建設課長 町として、猟友会の日常の活動にかかわる経費、有害鳥獣に伴う手当、報酬金についての単価引き上げ等前向きに検討してまいりたい。

問 猟友会会員の皆さんと緊急銃猟の対応について協議し

たようですが、小海町でも町中心部に熊が出没した事例もあります。熊の全国的な災害級の被害は、決して対岸の火事ではありません、早急に対応方針の決定をされるよう望みます。

産業建設課長 緊急銃猟については、限定された場所に実施する予定ですが、皆さんの意見を聞いて、詳細に制度を構築してまいります。

問 町でも、将来を見据えて公務員ハンターの設置を考慮したらと思いますが。

産業建設課長 公務員ハンターの導入を視野に入れた支援を検討して行きたいと思えます。

問 带状疱疹の助成金の扱いについて

問 带状疱疹の町単独のワクチン接種補助額を定期予防接種ワクチンの助成額と同額にできないか。

町民課長 定期予防接種を優先させ、任意接種については現状維持ということと考えています。

問 40歳以下の約4割の人が罹患しているという現実の中で、30代以上の町民の希望者にワクチン接種ができる仕組みを考慮していただきたい。

町民課長 県や国の情報等を収集したうえで、検討してまいります。

問 接種率が低く、十分に周知及び認知されていない現状が垣間見えます。そこで多様

な広報手段を駆使して、町民に広く知らしめる努力をしていただきたい。

町民課長 いろいろな機会を通じて情報発信をしてまいります。

合宿の町で地域活性化を

問 今夏、県内外の参加を得て、高校生の女子ソフトボール大会が開催され、参加された選手関係者からの評判も良く、合宿にも前向きな話があったようですが、しかし宿泊施設の確保が難しかった点が問題視されました。そこで、宿泊施設の確保に努め、合宿の町づくりによる地域活性化対策を講じていただきたいが。

生涯学習課長 宿泊施設の確保には、既存の宿泊施設を最大限活用することが大前提としてありますが、多くの皆さんが合宿地として選んでいただけに検討してまいります。

町長 子どもや住民が安心して頼れる地域づくりには、人と人とのつながりや日常的なコミュニケーションが欠かせません。役場が「相談すれば何とかなる場所」と感じてもらえるよう、対話を大切にしたい。開かれた行政を進め、地域の支え合いを育んでいく考えです。

問 タクシー乗ってね券は廃止でいいのでは

答 町長 タクシーだけでなく、飲食店の繁栄にもなる



まの 的 美香子議員

町長の公約から
人口流入増加・移住定住
促進政策について

問 村上団地宅地造成をし、37区画中、7区画しか販売できていない状況どうするののか。

町長 物価高騰、賃金の高騰、金融機関の貸し渋りなど計算違いだった。何らかの施策を講じなければならぬ。不公平感が出ないように建売住宅、公営住宅を考えています。

問 町営住宅建設4年間でなぜできなかったのか。

総務課長 長期振興計画での今後の住宅建設予定を説明し、財源も必要。

問 今必要なことを後回しにし、時に思いついたことを考慮せずに拙速に進めた結果ではないか。JAと土地交換をした馬流土地も4年間後利用が決まらないまま、どうするのか。

町長 第二分団の駐車場整備が急務。そして、私としては町営住宅という計画をすすめていきたい。

健康・長寿・福祉政策
について

問 タクシー利用助成券の枚数制限は検討されたか。

町民課長 枚数を増やす形で今、対策をとっています。

問 乗ってね！券の方はコロナ対策だったと思うがいままで続けるつもりか。

総務課長 飲食店の振興、タクシーの利用で経済を回していける一助になるため継続しています。

問 実際には飲んだ後の足の問題であって、生活利便性の向上というのか？そもそのタクシー利用助成の目的とはかけ離れているのではないのか。廃止にしてもいいのでは。

町長 私は飲酒で使わせていただいている。飲食店の繁栄にも繋がる。廃止という話になれば、タクシーは廃止の方にならなくていい。そうなる前

的 議員 町民の要望とかけ離れた補助金ありきの事業はやめるべきだ。その他遊休農地対策、林業政策、物価高騰対策について質問しました。

町長 行政を進める中で様々なハードルがある。計画を立て、いくら相談しようがお金が必要ではない。・・・場所、計画これだというものにたどり着いた。

問 検討をしてきたグループホームの話が先延ばしになった事は当事者の皆さんは無念でならない。「障害、福祉、高齢、全部まとめた中で土村地区に基点を設けて進めていきたい。ここまでこれたことが達成率半分」と言われたが、これが黒澤町長の福祉政策でしようか。

町長 手を打っている。



問 駅・アルルについてのお考えは

答 町長 町民が皆集え元気になれる場所づくりの投資



わたなべ あき 渡邊 晃子議員

保育環境の充実について

問 未満児の場合、下の子を産んで3か月で退園しなければならぬ現行かと思うが。(育休退園)

町長 不具合があれば改善していくことをしたい。

問 相談体制の現状は。

こども課長 去年から臨床心理士の先生に毎月1回来園頂き、気になる子を見て頂いたり保護者・保育士の悩みなど

の相談に乗って頂いている。

問 佐久穂町をならって、1人の子をしっかりと見ていく体制の充実を。

教育長 あゆみ園の在り方、保育園の相談体制、しっかりと構築していきたい。

児童館について

問 人員配置は。

こども課長 増築工事後は増員し、総合的に見ながら体制の見直しも検討したい。

不登校・支援の必要な児童や
保護者の対策について

問 2024年度小・中学生の不登校は県でも188人増の7,248人。町の受止め、現況は。

教育長 小学校は数人。北牧楽集館に向いてもらうとか、いろいろなケースで対応しております。

問 今後の対策の強化は。

教育長 こども家庭センターを設置し、学校現場がそこに相談したら何とかなるという組織運営を目指してまいります。

問 こども家庭センターに心の専門家をぜひ。

町長 現場からの声も大変起こっております。必要とあらば採用は考えております。

駅・アルルについて

問 アルルに消防の指導が入っているというが。



現在のキッズスペースの様子

総務課長 老朽化をしているので、指摘になることもございます。改善できるよう進めているところです。

問 アルル・駅のお考えは。

町長 町民が皆集える元気になれる場所づくりの投資とお考えください。

渡邊議員 これだけのお金(資料で1億980万円)をかけてきたが、町の大きな計画にきちんと位置付けられていない。一生懸命補助金を持ってきても後の維持管理費などについて明確な考えが何も出てきていないのは大問題。

問 小海分院への支援の増額は、実施するのか

答 町長 出来る限りの支援はします



わたなべ ひとし
渡辺 均 議員

分院支援について

問 現在町負担300万円。国の特別交付税で1,500万円となっているが。

町長 1,500万はボーダーライン（最低）で、他町村と協議し、出来る限りの支援はします。

問 新たな医療や介護、福祉サービスを検討し、医師の確保を提案したが、そのような医師の配置を町は検討できないか。

町民課長 児童相談や介護関係の医師など、要望はあるが、確保が難しい。

渡辺議員 医療をベースにスクールカウンセラーやソーシャルワーカーといった精神科系統の医師が必要で、分院と連携し、住みよい町づくりをお願いします。



林業の振興に向けて

問 再造林を担う若手林業者の育成をどう進めるか。

町長 組合以外に4軒の若手林業者があり、補助金が使え、業務がスムーズに行っている。このまま頑張ってもらいたい。

問 県の補助は、再造林がセットになっている。その担い手確保をどうするか、（まともな返事が返ってこない）。

問 森林環境贈与税の活用に向け、県林務のOBを雇い入れ、事務代行をお願いし、補助申請を増やす、南佐久南部4村にはいるが小海にはない。人材確保できないか。

町長 林政アドバイザーがいる。農林係も2名いる。対応できている。

渡辺議員 補助申請を代行するまでのノウハウがあるか、疑問。林業家と相談し、県費を使って町の森林を活かして

欲しい。ついでには、町の豊かな森林を多面的に活用し、環境を守り、CO2排出を抑える。そのための組織（仮称）森林環境保全活用レンジャー構想（図）を提案しました。

物価対策とコメの自給と直売所対策
問 直売所に1千万円の補助を出す大義は何か。

総務課長 町内で地産地消の循環を生むのが直売所の設置目的である。

問 お米の価格が高騰し消費者が困っている。生産者からの買い取り価格と消費者への販売価格の差額を直売所で調整し、生産者には相場より高く、消費者には割安で提供、これで直売所の売り上げアップを図る。9月議会で提案したが、実施できないか。

町長 小海のお米は自家消費や親せきなど、行き先が決まっております。町への供出は難しい。保管も難しい。

第2回小海町議会報告会

総務産業常任委員会

渡辺均議員

令和7年10月19日（日）に、2回目となる議会報告会を北牧集館多目的ホールにおいて開催しました。総務産業常任委員会は東京都奥多摩町の移住定住施策の視察報告及び町の森林と林業の現状についての調査報告を行いました。民生文教常任委員会は東京都奥多摩町の子育て支援施策の視察報告及び小海小学校の視察報告を行いました。また、常任委員会ごとに分科会として参加者と意見交換会を行いました。その内容につきましてご報告いたします。

総務産業常任委員会では、初めに林業振興について、森林組合や伐採現場の視察、民間林業者との懇談の結果などを整理し、課題として、
①再造林を担う人材確保をいかに導くか、
②補助申請の簡略化などで民間事業者の補助申請の簡略化などを図る手立ての検討
③支障木処理などに関わる経費への助成
④若手林業者への技術指導体制の充実などを報告した。

次いで、4名の一般参加者を交えて分科会を開催。参加者より駅前開発状況への問いが寄せられ、子供の遊び場、展示コーナー、喫茶事業、時計台の改修などが進め

民生文教常任委員会

小池喜昭議員

民生文教常任委員会の意見交換会では、次のような意見が出ました。今後の議会活動に生かして行きたいと思います。

1. 議会報告会について
・議会報告会は、町民が町政を知りうる上では大事なことであり、続けて開催されることを望みます。
・開催にあたり、今後は防災無線と回覧版



分科会の様子(総務産業関係)

られていて、と説明。その他、アルルの利活用などに関する質問が幾つか出された。

林業については、組合と民間事業者との兼ね合いや再造林の必要性に併せ、天然更新でもないのではないか、民間でもやれている事業者はいる、町の知恵出しが見えてこない、などの意見が寄せられた。
分科会の運営について、質問時間が短く、議論が深まらない、などの意見も出された。



分科会の様子(民生文教関係)

2. 子育て支援
課からこども課への変更について
・保育園から小学校への繋がりという意味のあるものにしてほしい。
・新人保育士への教育指導も必要ではないか。
・学校へ行けない児童の為に、今後は、小海でもサポート学級、中間教室が必要ではないか。
・臨床心理士やスクールカウンセラーとしての取り組みがあるが、学校以外でも話せる場所が必要だと思う。

3. こども家庭センター(新設予定)について
・こども家庭センターの設置にあたり、こどもや保護者に相談支援等が行えるよう、専門知識を有した人材配置をお願いしたい。
・社会福祉士、保健師等を置き、子育て支援のより一層の充実をお願いしたい。

議会報告会アンケート結果

●参加者からの意見

- ・報告会の時間が中途半端。
- ・積極的に参加しますので開催してください。報酬・定数の件も報告してください。
- ・各委員会の報告の説明は良かった。
- ・参加者が少なすぎるので残念。議員各位が支持者を勧誘すべきである。R6:14人。R7:10人？(内役場関係3人)。
- ・議員個人としてもっと勉強してほしい。
- ・総務産業の奥多摩町視察についての報告ですが、各グラフや定住応援についての内容について、小海町のグラフも載せて

発表していただけるともっとわかりやすかったかと思います。議員さんの報告からも「小海の方が良い」や「小海の方が大変」とのお言葉ありましたが、どのくらい違うのかわかりにくかったため。ぜひ今後も続けていただきたいです。報告会のお時間作ってくださいましてありがとうございました。

- ・意欲的な取り組みで大変良いと思います。進行は難しいですね。
- ・町民にとってこの報告会は貴重な場になるはず。しかし2回目にもかかわらず出席者が少ないのは残念。町民の意識を高める方策や広報の方法等、今後に向けて考えていただきたい。

年代

	全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代～
実数	10	0	0	0	1	2	2	5

知ったきっかけ

	全体	回覧板	口コミ	ポスター	HP	その他
実数	10	6	4	0	0	0

参加した理由

	全体	興味があった	知人に勧められた	その他
実数	10	0	0	0

①内容について

	全体	大変良かった	良かった	普通	あまり良くなかった	良くなかった
実数	10	2	5	3	0	0

②内容のわかりやすさ

	全体	大変良かった	良かった	普通	あまり良くなかった	良くなかった
実数	10	0	6	3	0	1

各常任委員会の活動内容

○総務産業常任委員会

令和7年7月11日

南佐久中部森林組合視察
(1回目)

令和7年8月29日

東京都奥多摩町視察

令和7年9月18日

町内林業者との意見交換会

令和8年1月30日

南佐久中部森林組合視察
(2回目)

○民生文教常任委員会

令和7年7月18日

小海小学校視察

令和7年8月29日

東京都奥多摩町視察

令和7年10月30日

佐久穂町こども課、
小海保育所、
小海なかよし児童館視察

令和8年1月16日

子育て座談会開催

編集後記

令和7年の漢字一文字が、一位、熊、二位、米が選出されました。そうした世相を反映してか、12月定例会での一般質問でも、この漢字をキーワードとした、質問が3人の議員からなされました。今年度開催された松本での議員研修会で、地方創世の力ギは議会にあると講演者のひとりが語ったなかで、地方議員の一般質問は提案提言型があまりないと力説していました。聞くところによると、佐久穂町ではほぼ全員の議員が、佐久市でも9割がたの議員が一般質問に臨んでいるとのこと、3月の選挙で選任される町長に対し、提案提言に心がけた一般質問をぜひ全員の議員がされるよう望みたいと思います。

(編集委員 菊池 一巳)

編集責任者 篠原 哲雄

編集委員長 鷹野 文則

編集委員 渡辺 均

編集委員 的埜美香子

編集委員 菊池 一巳